

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

## 資料室

[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [福澤諭吉伝 \(5\)](#)[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

### 福澤諭吉伝 (5)

5月に浦賀についた使節団はとんでもないニュースを聞かされました。

井伊大老が襲われ殺された「桜田門外の変」です。

攘夷派と開国派の争いはますます激化していきます。

翌年の1861年、諭吉は中津藩士の娘「お錦」と結婚しました。

その年の暮れ、ふたたび諭吉は幕府の使節団の一人として、ヨーロッパ諸国をめぐることになりました。

使節団がフランスのマルセイユに着いたのは3月の初めでした。

一行はパリから、イギリス、オランダ、ドイツ、ロシアと旅をして、またパリに戻り、それからポルトガルに行き、フランスの船で日本に帰りました。

旅は約1年に渡りました。

使節団たちにとって、見るもの聞くもの、すべて驚くことばかりでした。

諭吉がもっとも感心したのは、イギリスでは議会というものがあり、保守党と自由党が激しく対立して議論することでした。

それでいて議論が済めば、対立していた二つの党の人々が、食堂で一緒に笑って食事などをしている光景でした。

ところが使節団はだんだんと冷たくあしらわれるようになっていきます。

日本の国内で攘夷派が外国人を襲っているという情報がヨーロッパにも伝わってきたからです。

日本はどのような野蛮な国だと思われたのかもしれません。

諭吉らが帰国した1862年は、攘夷派の勢いがもっとも盛んな時でした。

年が明けると諭吉は忙しくなりました。

次々に幕府の外交文書の翻訳をしなければならなくなったのです。

諭吉が受け持った一番大きな仕事は、「生麦事件」に関するイギリスの賠償要求の文書を翻訳することでした。

生麦事件は諭吉が西洋視察中に起きた事件で、薩摩藩の行列を横切ろうとしたイギリス人を無礼打ちにした事件です。

幕府の老中たちは苦慮した挙句、多額の賠償金をイギリスに支払いました。

このあと、イギリスは7隻の軍艦を率いて、鹿児島湾に入り、薩摩藩に謝罪と犯人引渡しならびに遺族への慰謝料を要求しました。

しかし、薩摩藩はこれを拒絶したので、薩摩藩とイギリス軍の戦争になります。

激しい戦いに双方に被害が出て、結局、薩摩は賠償金を払い、イギリスは薩摩のために軍艦買い入れの世話をするというところで和解します。

同じように攘夷の考えを持っていた長州も外国船と戦いますが、散々に打ち破られて降伏します。

外国の軍事力をまざまざと見せつけられた薩摩と長州は、それからは、攘夷という考えを捨てて、倒幕という目的に向かうことになります。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録****お申し込みはこちらです。**[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.